

緊急安全情報

2016 年 9 月 5 日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位
輸血責任医師 各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

自己血貯血用冷蔵庫内の温度が上昇したことにより 自己血が使用不能となった事象について(第一報)

このたび、採取施設の自己血貯血用冷蔵庫の取り扱いの過失により、冷蔵庫内の温度が22℃に上昇したためドナーの自己血 600mL が使用不能となり、骨髄採取が延期となった事例が報告されました。

つきましては、再発防止の観点から、情報提供することといたしました。

○現時点で把握している情報(採取施設からの報告等)

通常、自己血貯血用冷蔵庫は非常用電源に接続されており、かつ、電気の供給が停止するとアラーム(警報システム)が自動的に鳴動するが、何らかの原因で電気の供給が途絶え、かつ、アラーム(警報システム)が切られていたため適切な温度で保管がなされなかった。

現在、原因等の詳細については採取施設にて確認中であり、判明次第ご報告いたします。

以上、情報共有、注意喚起のため情報提供します。

■本件に関する問い合わせ先 : 日本骨髄バンク ドナーコーディネート部
担当: 折原 / 杉村
TEL03-5280-2200/FAX03-5283-5629